



わが生涯に一片の悔いなし!!



濱口陽と申します。出身は長崎市、長崎大学を卒業後、長崎大学病院で研修し、長崎大学小児科に入局しました。その後、県内の基幹病院で勤務し、2013年から長崎医療センター NICUのスタッフとして診療を続けています。この11年間で、出生数は減少傾向にある一方、低出生体重児などのハイリスク新生児の増加が見られます。高度な医療サービスが求められる時代において、小児科医としての責任はますます重要になっていると感じています。

当院での主な専門は、新生児・発達領域です。当院は、9床のNICUと21床のGCUを持ち、年間250-300例がNICUに入院します。特に、超低出生体重児や極低出生体重児の取扱件数は年間約50例に上ります。緊急母体搬送にも積極的に対応しており、可能な限り患者を受け入れる努力を続けています。また、

臨床心理士や他院の専門医と協力し、NICU退院後は発育発達を長期フォローしています。他にも母乳育児を支援するBaby Friendly Hospitalの取り組みなど、当院は県内での新生児医療の重要な役割を果たしています。

好きな言葉は、子供の頃に読んだ「北斗の拳」から引用しました。私自身も悔いのない人生を送れるよう日々精進したいと思いますし、すべての子供たちのより良き人生のため、小児科医として全力でサポートして参りたいと考えています。よろしくお願いいたします。



大濠公園の市民レガッタ



飼っているうさぎたち



大村公園の桜



趣味の釣り